

想定される対策メニュー（案）

- 渋滞対策は、看板による「速度低下防止」、時差出勤等の「交通需要マネジメント」、車線数の増加等の「交通容量拡大」に分類される

対策種別	対策メニュー	概要
速度低下防止	看板	速度低下や渋滞等に関する注意喚起情報を提供し、速度低下の抑制や、上り坂等の早期速度回復を促す
交通需要マネジメント (TDM)	時差出勤	特定の時間帯に集中する交通需要を異なる時間帯へ移動させることにより混雑の緩和を狙う取組
	通勤ルートの変更	特定のルートに集中する交通需要を異なるルートへ分散させることにより混雑の緩和を狙う取組
	電車通勤への転換	公共交通の利用促進など、自動車利用の転換を図る取組
	作業員宿舍の移動	交通需要自体の低減を図る取組
	パーク&バスライド (バス通勤)	作業員の通勤用バスとパーク&ライド駐車場を整備し、バスへの乗り換えを行い、混雑区間の交通需要の低減を図る取組
交通容量拡大	バイパス整備	市街地通過区間等でバイパス整備を行い、信号連続区間を回避
	車線数の増加	既存道路を拡幅し、車線数を増加
	交差点改良	右左折レーンの新設や延伸を行い、右左折車両発生による後続車阻害を改善
	信号現示調整	混雑方向の信号青時間を延ばし、信号停止による容量低下を改善